

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 放課後子供教室の取組事例

金ケ崎町放課後子ども教室「キッズくらぶ」の活動（岩手県 金ケ崎町）

活動実施場所

中央生涯教育センター、第一小学校、永岡小学校、三ヶ尻小学校、西小学校等

取組概要や経緯

「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の委託を受けて、心豊かでたくましい子供を町全体で育むことを目的に、安全・安心な居場所（活動拠点）の提供と体験教室を開催している。

内容とポイント

◎定期開催（町内5つの小学校児童1学年から6学年を対象）

5月から10月まで毎週木曜日（祝日を除く）に、中央生涯教育センター他4つの小学校で実施。コーディネーターや安全管理員がスタッフとなり、午後3時から5時の2時間（開催場所により午後3時から4時30分の1時間30分）、ニュースポーツ（ドッジビー等）による運動、工作活動、自主活動（ボードゲーム、縄跳び、自習等のフリータイム）の機会提供を実施。

◎体験教室等の開催（町内5つの小学校児童1学年から6学年を対象（一部中学生が自主企画を実施））

5月自然体験教室「星空観察会」（中央生涯教育センター）、6月季節行事「七夕」（中央生涯教育センター）、7月社会体験教室「坐禅体験ときもだめし」（泰養寺）、8月「夏休み！キッズくらぶ」（中央生涯教育センター）、自然体験教室「川遊び」（県南青少年の家）、中学生自主企画「お化け屋敷」（中央生涯教育センター）、10月社会体験教室「秋の遠足」（友好都市 宮城県大衡村）を開催。



ドッジビーの様子



「川遊び」の様子

成果

地元の人材を活用した学びの場を継続して提供してきたことで、児童や保護者等のキッズくらぶへの関心が高く、更に学童保育所と連携したことにより、参加者が年々増加している。高学年が低学年の面倒をみる等責任感をもって行動する姿があり、異年齢交流の場ともなっている。

また、中学生有志が夏休みを利用し3年連続で「お化け屋敷」の企画運営をしたり、高校生ボランティアも活動の幅を広げてきており、地域の子供達に関わろうとする青少年の数が増えつつある。

※単位：人、（ ）内は運営スタッフ（コーディネーター、安全管理員）数

キッズくらぶ参加者数	平成29年実績	平成28年実績	平成27年実績
5月参加者	194 (17)	105 (15)	18 (6)
6月参加者	435 (59)	404 (52)	230 (35)
7月参加者	248 (37)	264 (31)	195 (42)
8月参加者	173 (13)	190 (13)	134 (7)
9月参加者	266 (35)	314 (30)	196 (26)
10月参加者	306 (37)	290 (24)	225 (23)
合計	1622 (198)	1567 (165)	998 (139)

今後の方向性

（課題）

・学童保育所と連携を強化したことで参加者が増加しており、運営スタッフが不足している。新たな人材の発掘・育成に取り組む必要がある。

・より良い活動の環境を整備するため、運営スタッフを対象とした研修体制を構築し、児童教育の専門家の育成を図る。

・中学生、高校生ボランティアの育成に取り組み、学びの機会の提供を図る。